

令和4年(2022年)10月

一般社団法人日本学校教育相談学会
各支部理事長 各位
会 員 各位

一般社団法人日本学校教育相談学会
会 長 春日井 敏之
研修委員長 向江 幸洋

一般社団法人日本学校教育相談学会第33回「中央研修会」開催のご案内

時下、会員の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、本学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、日本学校教育相談学会第33回「中央研修会」の研修内容が下記のように決まりましたので、お知らせいたします。

中央研修会は、コロナ禍の影響を受けて3年続けてのオンライン実施となります。今回は、これまでとは違った研修内容を企画いたしました。午前の部では12年ぶりに改訂される「生徒指導提要」を取り上げ、「改訂生徒指導提要にみるこれからの学校教育相談」をテーマにパネルディスカッションを、午後の部では最新の課題を取り上げた4つのコース別講座を実施いたします。そして、終了後に会員相互のつながりを深めるためのオンラインによるリモート交流会を企画しております。

年始めではございますが、万障お繰り合わせの上ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

1. 主 催 一般社団法人日本学校教育相談学会
主 管 一般社団法人日本学校教育相談学会研修委員会
2. 期 日 令和5年(2023年)1月8日(日)
午前の部(パネルディスカッション)：9:30~12:00(受付9:00~9:30)
午後の部(コース別講座)：13:00~16:00(受付12:30~13:00)
交流会：16:30~17:30
3. 実施方法 Zoomによるオンライン
4. 募集定員 午前の部「パネルディスカッション」：300名
午後の部「コース別講座」：各講座 80名
5. その他 参加された方には研修修了証を発行します。

6. 午前の部

パネルディスカッション

(9:30~12:00)

テーマ 「改訂生徒指導提要にみるこれからの学校教育相談」

【パネリスト】

大字弘一郎(世田谷区立下北沢小学校長, 全国連合小学校長会長)

小野 憲(逗子市立沼間中学校長, 前国立教育政策研究所総括研究官)

栗原 慎二(広島大学大学院)

野田 正人(立命館大学大学院)

【コーディネーター】

小林 浩子(下関市立大学, 元小中学校長)

7. 午後の部

コース別講座

(13:00~16:00)

《担当講師からのメッセージ》

Aコース：「遠隔心理支援(テレサイコロジー)の現状と課題」

講師：杉原 保史(京都大学)

近年、情報通信技術を用いた遠隔のカウンセリング(テレサイコロジー)が急速に発展し、社会に浸透していきつつあります。学校教育現場もまたその例外ではありません。その傾向はコロナ禍によって大きく加速されています。このことは心理カウンセリングにおけるデジタルトランスフォーメーションの動きであるとも言えます。今回の研修では、こうした動向の背景にある社会的な文脈について考察します。また、近年のテレサイコロジーの実際の動向について、その一端を紹介します。その上で、遠隔のカウンセリングの中でも、Zoomなどのウェブ会議システムを用いたカウンセリングと、LINEなどのSNSを活用したチャット・カウンセリングを取り上げ、それぞれの特徴や相談技術について検討してみたいと思います。

Bコース：「教室マルトリートメント」

講師：川上 康則(東京都立矢口特別支援学校)

本講座では、学校現場で行われる指導のうち、体罰やわいせつのような違法行為として認識されたものではないけれども、日常的によく見かけがちで、子どもたちの心を傷つけているような「適切ではない関わり」を取り上げます。例えば、事情を踏まえない頭ごなしの叱責や、子どもを萎縮させるような抑圧的な指導などは分かりやすい例として挙げられます。しかし、さらに掘り下げて、教室における細かなルール設定が必然的に枠組みからはみ出す子どもを増やしている状況や、子どもを早く動かしたいがゆえの「やる気がないならもういい」などの言葉かけ、放課後の職員室内で耳にする「この子は手に負えない」という会話等についても幅広く取り上げます。適切ではない関わりが発生する要因を、教育界の構造的な問題から検討し、教師という職業に常に付きまとう呪縛や子どもたちを温かく心地よい空気感で包むための具体的方策を考えていきたいと思えます。

Cコース：「教育相談に活かす援助要請に焦点を当てたカウンセリング —相談できる力を育てる学校環境の在り方—」

講師：本田 真大（北海道教育大学函館校）

学校で困難さを抱える子どもの中に、ニーズがあっても自ら相談しない（できない、ためらう）子どもたちがいます。このような心理は「援助要請」と呼ばれ、近年では「援助要請に焦点を当てたカウンセリング」（本田・水野，2017）として、カウンセリングや教育相談に応用する試みが始まっています。本研修では学校や子どもに関わる援助要請の困難さの実態や、自ら相談しない子どもに対する教育相談の方法を解説します。援助要請の実態や理論、アセスメント方法を説明した後、個別事例への援助（いじめ被害、不登校などに「相談しないこと」も重なっている事例のアセスメントと援助）、ならびに集団対象の予防的開発的教育相談の方法（自殺予防教育、SOSの出し方に関する教育）について紹介、解説します。本研修を通して、相談できる力を育成するための相談しやすい学校環境（教師の教育相談の方法、学校の教育相談体制）について考えます。

Dコース：「子どもの気になる課題の発見から支援までの仕組みづくり ～誰一人取り残さない仕組み、そしてチーム学校の形成へ～」

講師：山野 則子（大阪公立大学）

虐待、家庭内暴力、いじめ、貧困、コロナ禍によるストレスなど、子どもの抱えるリスクは多くありますが、子ども自身が声をあげられず、また周囲が気付かないことも多いためそれらのリスクが見えにくく、支援が必要な子どもに適切な支援が届いていないのが現状です。

どのくらいその見えない実際があるのか、子どもたちの実態を示し、そこから見えにくいリスクを拾い上げ問題化しないように発見から支援までスムーズに流れる仕組み、誰一人取り残さない仕組みについてともに考えませんか。

そして、子どもの気になる課題を教師がひとりで抱え込むのではなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、養護教諭などを含めた学校組織全体で情報を共有し、皆で子どもを支えることができる「チーム学校」づくりへと繋げていきましょう。

8. 交流会（16:30～17:30）

コロナ禍の中、私たちは日常の何気ない会話や他愛のないおしゃべり、笑顔や笑い声がどれだけ私たちの生きる活力になっていたかを再認識しました。本交流会は、対話と共感の姿勢、そして、かかわりを大切にしたい学校教育相談を学ぶ者同士の仲間との感情交流や共感の場、生きる勇気とエネルギー補充の機会にしたいと願い、企画したものです。リモート開催となりますが、参加者同士のつながりが実感できる内容を考えています。

参加は希望制です。人数把握の必要から、申し込み時に会参加の有無をお知らせください。交流会は、ブレイクアウトルームを活用して、研修委員がコーディネーターとなり、話したいテーマを設定し、フリートークで参加者同士の交流を深めていきます。温かいつながりを感じていただける交流会にしたいと考えています。

会員も会員でない方も、どうぞ、お気軽にご参加ください。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております。

9. 参加費

参加区分	参加費
会員	4,000 円
学校カウンセラー(学校カウンセラー・スーパーバイザーを含む)	3,000 円
会員外	5,000 円
大学生, 大学院生(社会人は含まない)	3,000 円

10. 申込方法及び申込期間について

(1) 申込方法

参加申込は、学会ホームページの中央研修会「申込リンク」よりお申し込みください。

なお、上記以外の申込は受け付けておりません。

申込方法の詳細につきましては、学会HPに「研修会参加申し込みの手順(保存版)」を確認のうえ、手順に沿って、お申し込みください。ダウンロードも可能です。

なお、昨年10月に会員の皆様には、「研修会参加申し込みの手順(保存版)」を配布しております。

(2) 申込期間

2022年11月1日(火)正午から2022年12月20日(火)正午まで

申込期限が過ぎた場合は、参加を受け付けることができません。

参加をお考えの方は、お早めにお申し込みください。

***参加申込後に、収納代行業者(株)電算システムより、参加費の払込書が申込者宛に郵送されます。**

(3) 注意事項

- ① 参加申込は、学会ホームページからのWeb入力のみです。電話、郵送、FAXでの受付はありません。
- ② **申込は、先着順**です。定員になった場合は、受付期間中でも受付を終了する場合があります。
- ③ 参加申込をされた方でも、期限までに、参加費の振り込みがない場合は、自動的にキャンセルとなりますのでご注意ください。収納代行業者(株)電算システムからの払込書に納入期限が明記されています。
- ④ 期限までに参加費を納入された方には、2023年1月6日(金)に、中央研修会参加のIDとパスワード及び事前配付資料等をメールにてお送りいたします。
- ⑤ 今回から、中央研修会についての問い合わせ先を下記のとおり3部門に分割しました。お問い合わせ内容に応じて、問い合わせ先を選択し、メールでお問い合わせください。

【一般社団法人日本学校教育相談学会 第33回中央研修会 問い合わせ先】

◎ Web参加申込に関すること

受付サポート係(平文社内) E-mail:jascg-chuokenshu@heibun.co.jp

◎ 研修内容に関すること

研修委員会 E-mail:jascgkensyu01@gmail.com

◎ 会費納入事務手続に関すること

中央研修会事務局 E-mail:jimu-chu@jascg.net